安全通信

Vol.151　令和8年9月号

健康管理も安全対策のひとつ

毎日の健康KYで、
いつもとの違いに気づこう

10月1日から7日は、全国労働衛生週間です。そして9月は全国労働衛生週間の準備期間です。今年のスローガンは『ひとりひとりが貴重な人材　心も体も健やかにみんな生き生き健康職場』です。衛生、つまり健康的に働くことは、全ての仕事において基本となり、重要なことです。しかし、普段生活していると健康の大切さは忘れがちです。健康はいちど損なってから、はじめてその価値に気づくものです。この期間には、現場で働く一人ひとりの健康についても見直す機会にしましょう。

体調不良や寝不足、ストレスなどは、集中力の低下や判断ミスを招き、事故や災害につながることがあります。安全に作業するためには、設備や作業方法だけでなく、毎日の健康状態を確認することも大切です。毎日作業前に行っているKYでは、危険予知とあわせて体調確認も行いましょう。職長はただ返事を聞くだけでなく、顔色や表情、動作などにも目を向け、普段との違いに気づくことが重要です。体調が悪いときに無理をしない。仲間の変化に気づいたら声をかける。毎日の健康管理を、事故を防ぐための安全活動につなげていきましょう。

今月もご安全に！

安全教育センター

令和8年度全国労働衛生週間スローガン

ひとりひとりが貴重な人材　心も体も
健やかに　みんな生き生き健康職場

自分の健康が 仲間の安全につながります！ みんなで声をかけ合い、元気に安全作業を！

「いつもと違う」
この気づきで、事故を防ごう

©安全教育センター